ノーネクタイが唯一のきまり
第 120 回　ニセコ町まちづくり町民講座

続々・エキノコックス対策。

～エキノコックス駆除に着実な効果があらわれています～

ニセコ町でＨ２１年度より行っている、エキノコックス（寄生虫）の駆除の状況や、現状の報告などについて、下記の通り講演会を行います。

Ｈ２０年秋、町内のキツネのエキノコックス感染状況について、３回にわたる実態調査が行われました（この調査は、NPO法人ＷＡＯニセコ再発見の会（倶知安町）が、羊蹄山麓で取り組んだ活動です）。その結果、ニセコ町での抗原陽性（キツネの糞にエキノコックスの卵が存在していた痕跡がある）は**約３３％**で、かつ**キツネの感染域と人の生活圏が重なっている**状況が分かりました。

このため町では、Ｈ２１年度から「ニセコ町エキノコックス駆除対策推進員」（H22年度で 11 名）の皆様にボランティアでご協力いただき、春から秋にかけて月１回、エキノコックス駆除のためベイト（薬剤の入ったキツネのえさ）の散布を行いました。その結果、抗原陽性は**Ｈ２１年度は１０．５%、Ｈ２２年度は８．６%まで低下**し、着実な効果がみられました。

人への感染が心配されるエキノコックスは、１９８０年代には全道に広がっていることが確認され、最近では飼い犬を通じた人への感染も心配され、正しい知識を持って対処していくことが、一層求められています。

と き　４月２５日（月）午後７時から 8時30分まで

ところ　ニセコ町民センター ２階一般研修室

申込不要です
気軽にお越しください！
参加無料

プログラム

19：00	**講　演** **『（仮題）ニセコ町のエキノコックス駆除の取組と効果』** **講　師　岡崎克則さん（倶知安町風土館　館長）**
20：00	**ニセコ町でのエキノコックスの取り組みについて** **説　明　ニセコ町企画環境課** **質　疑**

裏面のエキノコックス駆除方法についてもご覧ください。

主　　催　　ニセコ町
お問合せ　　ニセコ町企画環境課
担　　当　　川埜・福村　　電話 0136-44-2121
E-mail : kikaku@town.niseko.lg.jp

■エキノコックス駆除方法とベイト(キツネのエサ)について

1．エキノコックスの駆除は、ベイトと呼ばれる虫下しのエサを道路沿いに散布する方法で行います。散布したベイトは、縄張りを持つキツネに食べさせることが目的です。

2．ベイトを食べることによって、キツネの体内からエキノコックスが排出されます。ベイトを食べてもキツネは死にません。
　このため、健康になったキツネが自分の縄張りを守るため、エキノコックスに感染したキツネの進入を防ぐことになります。

3．ベイトは、虫下し入りの薬剤(プラジカンテル)を魚のすり身に混ぜて作ります。ベイト１つの大きさは消しゴム大です。

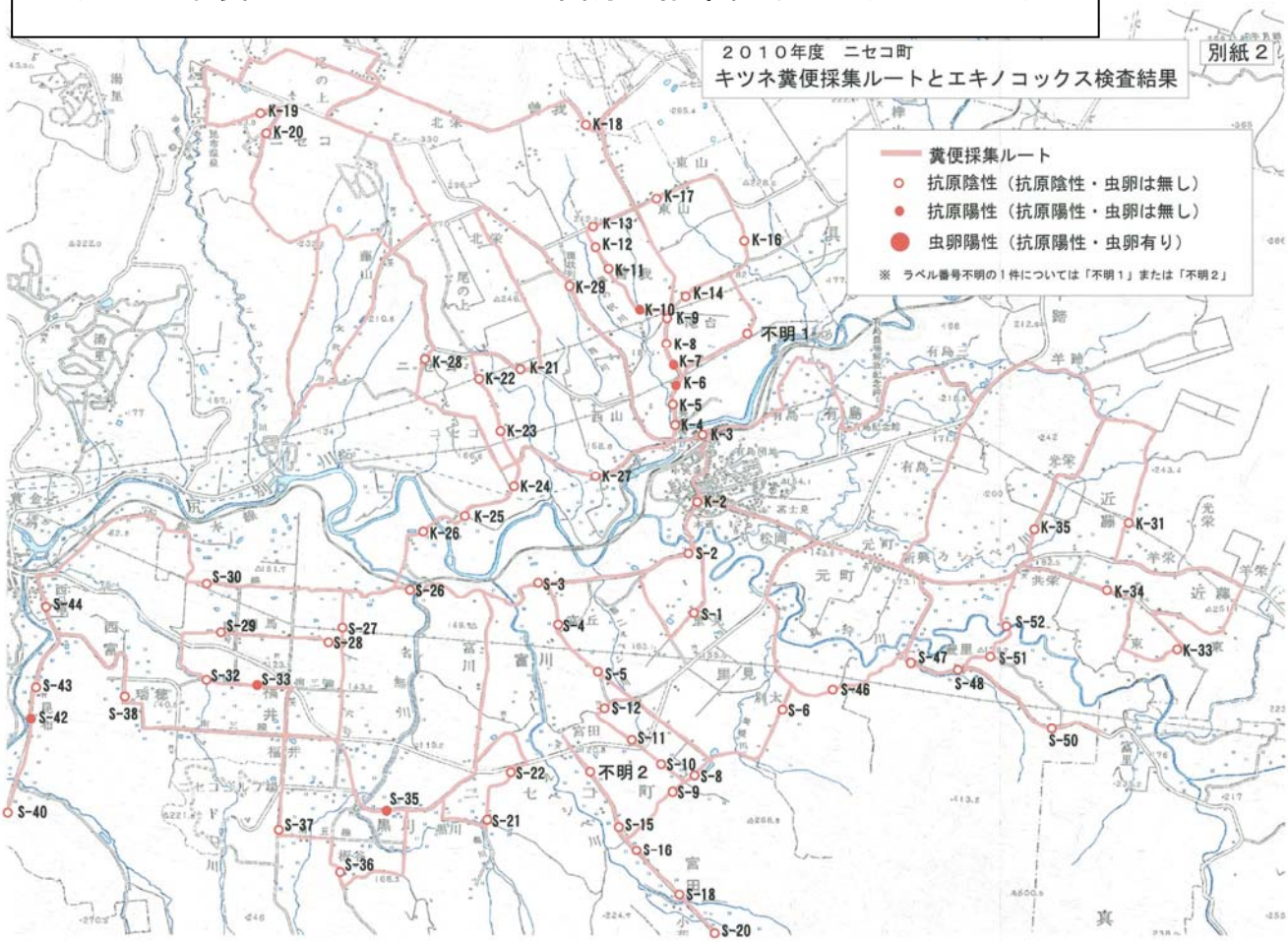
4．ベイトは道路沿いに、約１００ｍ間隔に１つ散布します。犬や人間が食べても健康に影響はありません

5．ベイトは５月から月に１回のペースで 11 月まで、計７回程度散布します。
なお、散布数は１回約 2,000 個です。

6．１０月頃に町内のキツネの糞を採取し(約 100 個)、エキノコックス感染の減少状況を把握。

ベイトと呼ばれるキツネのエサ

平成２２年度エキノコックス感染調査結果箇所図（ニセコ町）



ニセコ町のホームページにも公開しています。http://www.town.niseko.lg.jp/machitsukuri/kankyo/ekinokokkusu.html